

72 森林・山村地域振興対策

【令和5年度予算概算要求額 1,501 (1,363) 百万円】

<対策のポイント>

森林の多面的機能の発揮と山村地域のコミュニティの維持・活性化を図るため、**生活の身近にある里山林の継続的な保安全管理や利用等の協働活動を促進**するとともに、**森林空間をはじめとした多様な森林資源を活用して山村と都市との新たな関わりを創出**します。また、**国有林野において、国が事業実施主体となり、協働型の生物多様性の保全の取組を実施**します。

<事業目標>

- 地域外からの活動参加者数（関係人口を含めた活動への参加者数）が増加した活動組織の割合を毎年度増加
- Forest Styleネットワークの登録数（307団体等 [令和3年度] → 610団体等 [令和8年度まで]）

<事業の内容>

1. 森林・山村多面的機能発揮対策 1,375 (1,363) 百万円

森林の多面的機能の発揮とともに関係人口の創出を通じ、山村地域のコミュニティの維持・活性化を図るため、**地域住民や地域外関係者等による活動組織が実施する森林の保安全管理、森林資源の活用**を図る取組等を支援します。

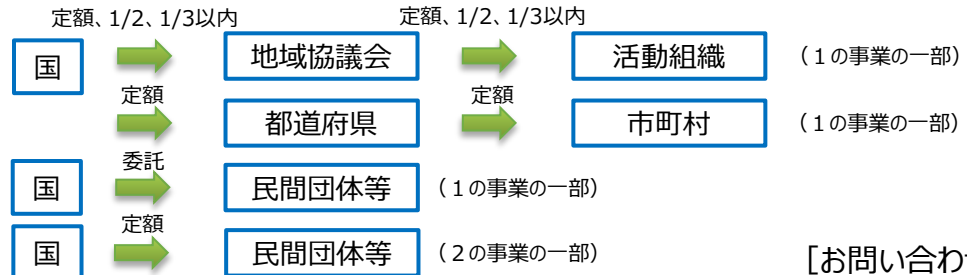
2. 新たな森林空間利用創出対策 80 (-) 百万円

山村地域やその住民と継続的かつ多様に関わる「関係人口」を拡大させていくため、都市住民も含めWell-Beingの向上につながる**森林コンテンツの育成・普及に向けた取組への支援**や、「**日本美しい森 お薦め国有林**」の重点的な環境整備等を行います。

3. 協働型生物多様性保全事業 45 (-) 百万円

地域における生物多様性の保全や山村地域のコミュニティの維持・活性化を図るため、**国有林野において、地域の関係者等との協働型による生物多様性保全の取組手法を構築**します。

<事業の流れ>



※国有林においては、直轄で実施（2の事業の一部及び3の事業）

<事業イメージ>

森林・山村多面的機能発揮対策

地域環境保全タイプ

里山林景観の維持 侵入竹の伐採・除去

森林資源利用タイプ

薪や原木としての利用

○サイドメニュー

- ・路網の補修・機能強化等
- ・関係人口の創出・維持等の活動
- ・機材、資材購入支援

新たな森林空間利用創出対策

間伐体験
木工教室
自然保育

多様なコンテンツの複合化・上質化

専門家派遣 ワークショップ 紹介・マッチング

「日本美しい森 お薦め国有林」の重点的な環境整備等

木道の整備

動画によるPR

森林の多面的機能の発揮、Well-Beingの向上、関係人口の拡大

【お問い合わせ先】（1の事業、2の事業の一部）林野庁森林利用課（03-3502-0048）
 （2の事業の一部、3の事業）経営企画課（03-6744-2321）